

鎌仲ひとみさんと奏でる  
ミツバチの羽音と  
六ヶ所村ラプソディー

2月  
9日



Film 2

# ミツバチの 羽音と 地球の回転



祝島のとスウェーデンで

エネルギーの自立に取り組む人々の物語。

2 作品上映会

+ 鎌仲ひとみ監督講演会 ゲスト：料理研究家 岸田美紀

特製弁当  
付き

# 六ヶ所村 Rokkashomura Rhapsody ラプソディー

Film 1

【日時・会場】2014年2月9日(日) 10時~20時半頃 町田市民ホール 第4会議室  
【申込・問合せ先】主催：衣食住を考える会 from jam nippon(仮) 連絡先：090 1841 6662 メール：jam\_nippon@yahoo.co.jp (ミヤザキまで)

核燃の大地に咲く花

ここに私たちのくらしがある。



# 鎌仲ひとみさんと奏でる ミツバチの羽音と六ヶ所村ラブソディー

【日時・会場】

<https://www.facebook.com/events/731484213546321/>

2014年2月9日(日) 10時～20時半頃 町田市民ホール 第4会議室

【住所】194-0022 東京都町田市森野2-2-36 TEL: 042-728-4300

【アクセス】小田急線町田駅(西口)徒歩約7分、JR横浜線(中央口・小田急線連絡口)から徒歩約10分

【タイムテーブル】

■ 1部 ■ 『六ヶ所村ラブソディー』上映会 開場9:40 / 挨拶10:00 / 上映時間10:10～12:10頃

■ 2部 ■ 鎌仲ひとみ監督 & 岸田美紀さんトークの時間 12:10～お弁当と鎌仲監督への質問シートを配布いたします。

12:30～13:30 お昼の時間 ★料理研究家 岸田美紀さんお手製弁当付き★

「素材は穀物、野菜、海藻、乾物と海の塩、伝統の調味料。動物性のも、砂糖は使いません。からだどころと地球がよろこぶお弁当です。原発建設反対運動を続けてきた祝島の山戸孝さんのひじきなど、応援したい生産者の品を中心に、心をこめて調理します。」

13:30～ 料理研究家 岸田美紀さんトーク「未来のための、食べもの手作り暮らしの話」

「お金で便利な品を買うだけの暮らしを続けていては、原発から離れることはできません。

まず、食べるという行為を人まかせにしないで少しでも自分の手に取り戻していく、町に住んでいてもできる手作りの食、自給自足的暮らしについてのお話です。」

14:30～ 鎌仲ひとみ監督講演会「私たちは選択する」～子どもたちの未来のために～

質疑応答、サイン会 ※当日鎌仲監督作品DVDや関連グッズ購入の方へサイン会開催します。

■ 3部 ■ 『ミツバチの羽音と地球の回転』上映会 開場17:40 / 挨拶18:00 / 上映時間18:10～20:30頃

★1部～3部まで全て第4会議室での開催となります。★会場出入口前に、休憩スペースあり。

★開場内外に複数のスタッフが常駐しております。お子様お連れの方で、上映・講演中に何かあった場合はスタッフが補助・誘導いたします。ご不安な点があれば事前にご相談ください。

【参加料(前売り)】

・1日通しで参加 3,800円(お弁当付き) ・1部+2部または2部+3部参加 2,800円(お弁当付き)

・1部または3部のみ参加 1,200円 ・2部のみ参加 2,000円(お弁当付き)

【併催イベント ～富田貴史さんと鉄火味噌で内部被爆を生き抜く～について】

(日時・会場)2014年2月7日(金) 10時～20時頃 ユニコムプラザ相模原 実習室1

(内容)10:00～鉄火味噌作りワークショップ & お話し会3,300円、15:30～富田貴史さんお話し会500円、17:30～『内部被爆を生き抜く』上映会1,000円

(Facebookページ) <https://m.facebook.com/events/1443951742487056/>

こちらに合わせて  
ご参加いただけ  
たら幸いです。



【鎌仲ひとみ監督プロフィール】

映像作家。早稲田大学卒業と同時にドキュメンタリー映画制作の現場へ。90年から海外での活動を経て、95年帰国。以来、フリーの映像作家としてテレビ、映画の監督をつとめる。主にNHKで「エンデの遺言―根源からお金を問う」など番組を多数監督。2003年「ヒバクチャー世界の終わりに」、2006年「六ヶ所村ラブソディー」、2010年「ミツバチの羽音と地球の回転」を発表し、各作品国内外で上映。2011年度全国映画賞・監督賞受賞。2012年DVD「内部被爆を生き抜く」は国内外800ヶ所で上映。2013年現在、新作「小さき声のカノン―選択する人々」撮影中。多摩美術大学非常勤講師。著作・共著多数有。



【岸田美紀プロフィール】

東京生まれ。1991年からいっしょぼーや(株)スタッフとしてオーガニック流通の世界に入る。市場が拡大する中で、想いをもって育てられた生産物を単なる「モノ」「商品」ではなく、「食べもの」として本当においしくいただく「食べ方」を伝える方法を模索し、やがて料理を仕事に。自然食カフェでケーキタリング・教室講師などを歴任。食べものや暮らしと主体的に向き合い、生産の背景を考えられる人を増やすべく活動を続けている。オーガニック流通の商品&販売企画、レシピ開発、カフェプロデュース、手作り・雑穀・野菜・発酵食などをテーマにした料理教室講師ほか。



About the movie

## 『六ヶ所村ラブソディー』

一核燃の大地に咲く花。ここに私たちの暮らしがある一

2004年、六ヶ所村に原発で使った燃料からプルトニウムを取り出す再処理工場が完成した。稼働に向けて動き出した巨大な国家プロジェクトをめぐって様々な立場の村人たちが登場する。推進も反対も核と共に生きることを余儀なくされている。それぞれの選択した生き方と平行して着々と進む再処理計画。カメラは事故を起こしたイギリスの再処理工場へ。その40年の歴史が六ヶ所の未来を予感させる。多様な人々の思いが交錯し、私たち自身の選択を迫ってくる。

## 『ミツバチの羽音と地球の回転』

一ここで生きていく決意が世界を動かす一

瀬戸内海祝島では自給自足的な暮らしが営まれ、漁師やおばちゃんたちがきれいな海を守りたいと28年間も原発建設に反対してきた。島で一番若い働き手、孝くんはエネルギーの自給もしたいと望んでいる。しかし、圧倒的な経済力と権力が原発建設を推進し続けている。一方、北欧のスウェーデンでは脱石油・脱原発建設を決め、着実にエネルギーを自給エネルギーへとシフトし、持続可能な社会作りが進んでいる。どうしたら未来のエネルギーを自分たちの手で選択し、作り出せるのか。私たちと同じ普通の人々の感性と思いが国を超えて交差し、新しいビジョンを描き出す。未来を持たずに、今、未来を作り出す現場がここにある。自然と共振し、エネルギーを生み出すミツバチのような人々の羽音が聞こえてくる。

【申込・問合せ先】 ○主催:衣食住を考える会 from jam nippon ○連絡先 090 1841 6662 / メール jam\_nippon@yahoo.co.jp (ミヤザキまで)